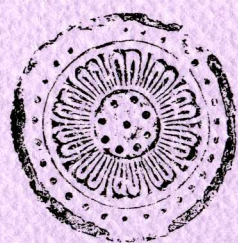


大分市歴史資料館年報



1 9 9 2

は じ め に

大分市歴史資料館が、1987年4月に開館し、本年度で5年が経過いたしました。来年度、開館5周年を記念いたしまして特別企画展を計画しておりますのでご期待下さい。

さて、当館は、購入・寄贈・寄託の方法で展示資料の充実に努めているところです。収集資料は考古、民俗、歴史、美術史資料を対象としておりますが、大友氏及び中世関係、キリシタン・南蛮関係、府内藩・市内諸藩及び近世関係、近現代関係資料を主要テーマとして収集に当たっております。特に近現代分野は現在常設展示に取り入れられておらず、これからの課題として残されている分野で、市民生活に関係の深く、ぜひ市民のご協力をお願いしたいと思います。

当館は、市民の歴史を学ぶ場であるとともに、学校の歴史教育の一環としてより良い利用出来るよう努力している所ではありますが、昨年度発行しました、資料館の展示資料にもとづきました「学習ノート」は幅広く、資料館見学・学習に利用をいただいております。今後も資料館をより親しみ易く利用して頂けるように、学習資料を充実させてゆくつもりでありますので、ぜひ幅広く利用されることを念願しております。

平成3年度の事業概要をまとめて年報として報告しておりますが、市民の歴史資料館としてさらに一層の充実をはかるため広く皆様方の御支援と御指導を頂きたいと存じます。

平成4年3月31日

館 長 木 村 幾多郎

目次

展 示	1
常設展示 特別展示	
講演記録「佐土原人形の世界」青山幹雄氏	8
教育普及活動	14
ふるさとの歴史講座 史跡見学会	
夏休みジュニア講座 陶芸講座 はた織り講座	
歴史を映画でみる会 刊行物 博物館実習	
資料の利用・貸出	
資料収集	18
図 書	24
資料館利用状況	30
管理及び運営	32
歴史資料館協議会 組織・職員	
予算 施設管理業務の内容	
施設の概要	34
条例・規則	36
日 誌 抄	42
利用案内	44

展 示

常設展示

本年度は以下の事業を実施した。

- (1) 狩野内膳筆「南風屏風(神戸市立博物館蔵)」
右隻の複製(模写)製作

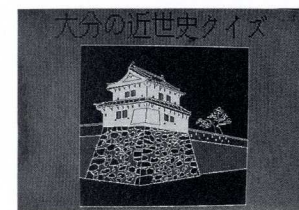
- (2) パソコン学習新ソフトの製作

(1) この屏風は南蛮船やポルトガル人の風俗等、当時の様子を的確に描いたものと知られており、戦国時代の大友氏の南蛮交易の様子を伝える参考資料として製作した。

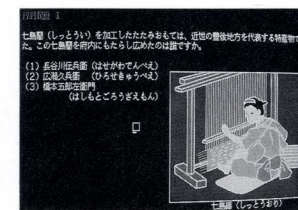
(2) 今年新たに「大分の近世史」クイズを製作した。内容は(a)武家のくらし、(b)庶民のくらし、(c)人物

の3分野で構成され、前年同様、各分野5問、択一形式の全15問の学習内容を設定した。細部の内容は、(a)―〔①豊後の小藩分立について、②府内藩の歴代藩主について、③大給松平家について、④参勤交代について、⑤藩校について〕、(b)―〔①浜の市について、②庄屋住居について、③傘連判状について、④文化一揆について、⑤キリシタン弾圧について〕、(c)―〔①七島蘭と橋本五郎左衛門について、②三弥長者伝説について③前野良沢と解体新書について、④広瀬淡窓について、⑤三浦安針について〕であり、各内容について学習できるものとした。

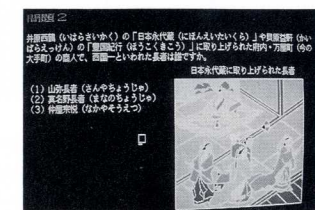
パソコン学習新ソフト



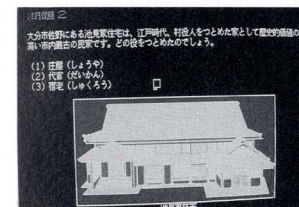
1



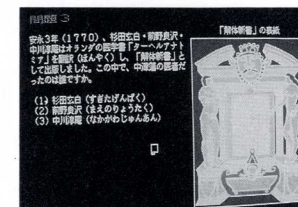
2



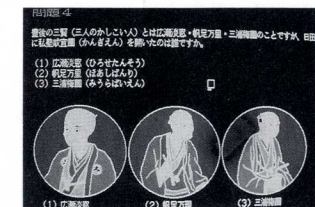
3



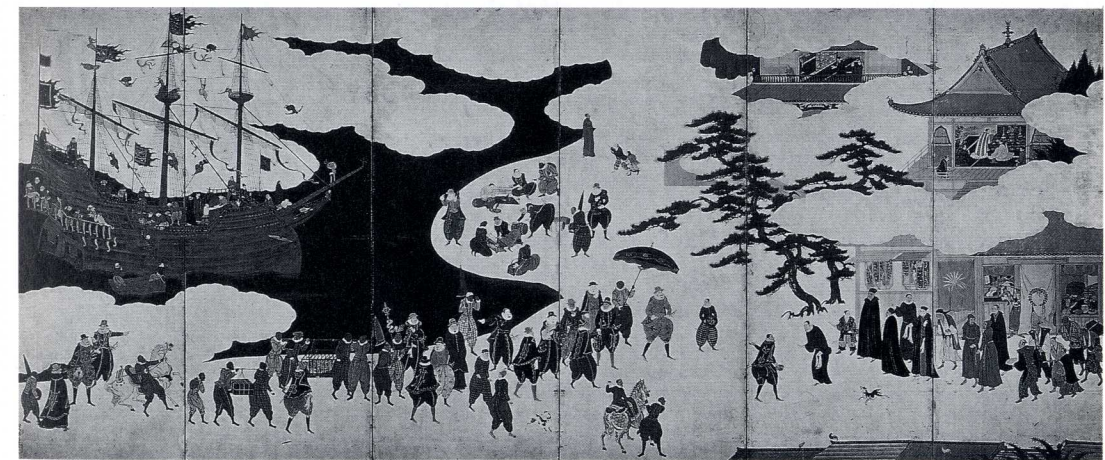
4



5



6



狩野内膳筆「南蛮屏風」右隻の複製

資料収集

寄贈

歴史資料

○豊後の藩札 6点

橋詰武彦氏

①府内藩蒔代銭五分預切手 2点

天保10年(1839)銀札場が閉鎖に追い込まれた際七島蒔の買い付けのため蒔会所が発行した紙幣。銭一分から十匁までの6種類がある。

②佐伯藩紙会所銭壹分札 1点

万延元年(1860)紙会所が藩の専売品である紙を買い付けるため発行した切手。銭一分から十匁までの8種類があり、本札は一分札である。この切手は流通期限が設定されており、裏に「酉(1861)三月廿日限」と印刷されている。

③日出藩七銭壹分札 1点

慶応2年(1866)それまでの主流札(文化5・1808年発行)にかわり、大分郡常行村の豪商首藤治郎兵衛を銀主として発行した新札。「七銭」は銭と銀の換算率で、銭七十文が銀一匁であることを示す。

④熊本藩久住銭壹分札

明治元年11月に熊本藩久住町で発行された御銀所預切手。久住は行政上「村」であったが、藩の御茶屋が置かれ、宿場町として栄えていた。

⑤別府銭三百文札

明治2年(1869)別府のたばこ屋荒金宗十郎が個人的に発行した私札。

○昭和9年大分市街地図、昭和12年大分県地図

以上2点 山田芳久氏

大分市街地図は縦18.9cm×98.8cmの横長で、高崎山から舞鶴橋までを海側上空から鳥瞰した地図。町の代表的な建物が立体的に描かれ、注記がつく。裏面には大分市の沿革と観光名所案内が写真入りで印刷されている。大分市役所発行。

大分県地図は縦54.1cm×横79.0cm。地図の余白に大分市と別府市の市街地図が紹介され、裏面に管内地誌、市町村覧、人口便覧、主要物産についての説明が印刷されている。

民俗資料

○龍吐水、手織機

以上2点 工藤綾彦氏

○木綿着物2、羽織、はんでん

以上4点 胡麻鶴寿市氏

寿市氏の叔母モミ氏(明治18・1885年生)が嫁入り前に手織りし、仕立てたもの。

○オルガン、SPレコード34点

以上35点 三ヶ尻徳三氏

オルガンは昭和30年代に使われていた足踏み式。

SPレコードは小学校唱歌、運動会用行進曲など。

○すき2、牛用鞍2

以上4点 丹生重忠氏

○蒸し器、大型鉄鍋

以上2点 芳崎末人氏

○一斗丸榎、一斗核榎、五合角榎、ならし丸棒

以上4点 有田 仁氏

○棒ちぎ、十八貫おもり、さお秤、一斗榎

以上4点 姫野亮一氏

○菊 瓦

1点 首藤周三氏

○義太夫節・浪花節SPレコード13点

大分市清心園

○木挽き用鋸、柳ごおり2、たこつば

以上4点 河野欣二氏

寄託

歴史資料

○松栄神社蔵絵図・古文書 71点

松栄神社

府内城諸櫓門図帳、御船入倉・京泊番所図、船奉行屋敷・仙石橋・春日浦御茶屋図、浄安寺図、円寿寺図、福寿院図、春日神社図、松栄山、祇園神社図、牧村久松庵庫裏地図、浄安寺平面図、春日神社平面図、元惣役所平面図、北の丸仮り御殿平面図、元東の丸御殿平面図、下台所平面図、表居間仕直控図、大坂蔵屋敷図断簡、大坂御殿平面図断簡、藩校平面図2、藩校平面図断簡、不明建物平面図5、不明建物平面図断簡11、坪割図3、建物立面図1、建物側面図、増沢家屋敷図、新川元番所図、某寺平面図、府内藩領図、

享保13年御用留記、宝暦6年御用留記、明和7年御用留記、細川光利書状、成瀬小吉書状、成瀬・末瀬連署状、成瀬・米津連署状、土井利勝・安藤重信連署状、江戸幕府老中連署状2、城中破損井川水出候覚、松平近貞城郭修築願上状写、松平近儒養子奉願候覚、御先例書下書、道程之覚、遊行上人廻来ニ付取計書付、新村提賃銭請取状6、

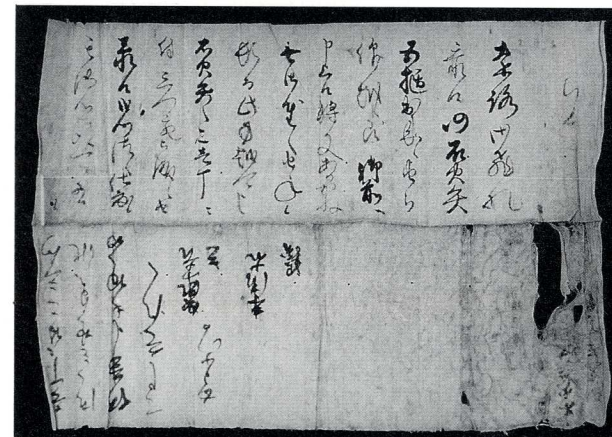
松栄神社が所蔵している古文書・絵図一括。絵図の概要については「大分市歴史資料館年報 1991」の「市内の絵図調査」に述べられている。古文書のうち3点の「御用留記」は府内藩の役所記録で、県立図書館が所蔵している「府内藩記録 甲」を補完する資料である。また、細川光利書状以下成瀬発給の4通の書状は石火矢師渡辺宗覚に宛てたもので、細川氏が石火矢の鑄造を依頼し、5門できあがったことがわかる。これまで紹介されていない史料であり内容も注目すべきものがある。ただ、なぜ松栄神社に伝来したかは不明である。



豊後の藩札



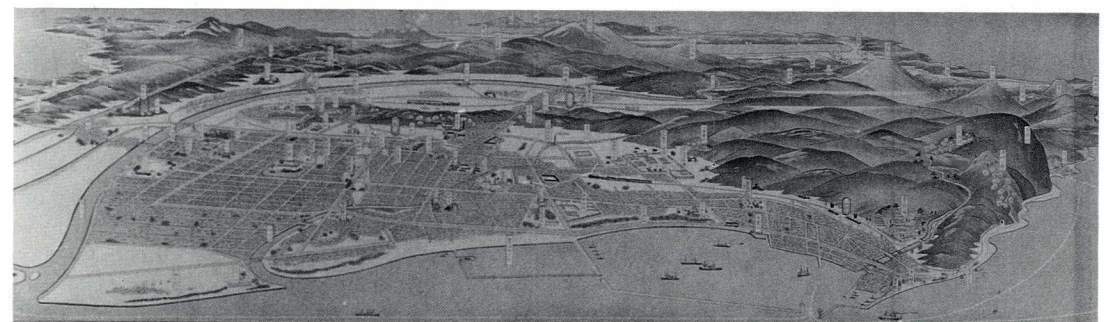
明治時代の羽織



成瀬・末瀬連署状



府内藩御用留記



昭和9年 大分市街地図

購入

歴史資料

○大友義鑑書状 1幅 (天文3年) 壬正月廿三日付

宛名 中島新三郎 掛軸装 縦15.2×横35.4cm
玖珠郡の領主中島氏にあて軍労を謝した感状。義鑑の在世中に閏正月があるのは天文3年のみである。なお、『大友家文書録』に本状の写が所収されている。

○大友義統書状写 1通 年末詳十二月九日付

宛名 立花右衛門大夫31名 包紙 切紙 切封 18.8×65.0cm

おそらくは立花城に在番していた諸氏にあてその軍労を謝した感状。

○キリシタン高札 1枚 弘化四年三月 (1847) 42.5×74.5cm

キリスト教禁止とバテレン等を密告した者への褒美を決めたいわゆるキリシタン高札。天和2年 (1682)に出されたものを弘化4年に再交付している。残念ながら墨がほとんど消えている。

○五榜の掲示第2・3札 各1枚 慶応4年 (1868) 第2札 44.4×84.6 第3札 42.1×77.0cm

明治新政府が幕府高札の代わりに掲げさせた5枚の太政官札 (五榜の掲示) のうち徒党・強訴・逃散を禁じた第2札とキリスト教禁止令の第3札。ともに裏面の墨書により幕府領日田郡下井手村 (日田市) に掲げられていたことがわかる。

○府内藩歴代藩主書状 14通

① 5代近形書状 玉置但見宛 正月三日 折紙 36.9×48.1cm

② 6代近儔書状 玉置舍人宛 正月二日 切紙 16.9×73.4cm

③ 6代近儔書状 玉置舍人宛 正月二日 切紙 封紙 16.4×61.6cm

④ 7代近義書状 津久井四郎右衛門宛 正月二日 切紙 封紙 15.8×53.5cm

⑤ 8代近訓書状 玉置舍人宛 正月二日 切紙 封紙 16.4×71.7cm

⑥ 8代近訓書状 玉置舍人宛 (文化11年) 正月二日 封紙 16.6×73.8cm

⑦ 8代近訓書状 玉置舍人宛 正月二日 切紙 16.4×72.8cm

⑧ 8代近訓書状 津久井四郎右衛門宛 正月二日 切紙 16.4×63.0cm

⑨ 8代近訓書状 戸田三之丞・玉置内記・津久井嘉助・太田弾正 木戸孫四郎宛 正月二日 切紙 16.4×62.2cm

⑩ 8代近訓書状 戸田三之丞・津久井嘉助・太田弾正・木戸孫四郎宛 正月二日 切紙 16.5×62.6cm

⑪ 9代近信書状

岡本主米・玉置但見・木村矢柄・吉田与八郎宛 六月二日 切紙 封紙 18.0×66.1cm

⑫ 9代近信書状 津久井四郎右衛門宛 十二月十九日 切紙 封紙 16.5×65.8cm

⑬ 9代近信書状 津久井四郎右衛門宛 正月二日 切紙 封紙 16.5×65.8cm

⑭ 10代近説書状

岡本治部右衛門・岡本外記・岡本主米・玉置内記宛 八月十六日 切紙 封紙 15.7×56.9cm

5代近形から10代近説まで6代にわたる歴代府内藩主が江戸より国元の家老たちに出した書簡。ほとんどが新春の挨拶状である。

○府内藩金銀札払帳 1冊 安政6年 (1859) 薄冊
府内藩における安政6年1年間の財政支出をまとめた帳簿。大分県立図書館蔵「府内藩記録」には同様の金銭帳簿は含まれてなく、新出の史料である。

○豊後紀行 1冊 写本 冊子 56丁 27.7×20.9cm
福岡藩の儒学者貝原益軒が元禄7年 (1694) 豊前・豊後を旅行してまとめた紀行文。自筆本は所在不明で写本が6点ほど確認されている。本品は他の写本と比較して、若干の誤記はあるものの、大きな脱落箇所はなく、紙質・字体からみても18世紀中期までに書写されたと考えられる。

○豊前今井元長船合戦図 1鋪 紙本着色 53.7×107.7cm

永禄4年 (1561) 豊前今井・元永沖 (現行橋市) での大友水軍と毛利水軍の合戦を描いた絵図。門司城奪回のため出陣した大友軍の退路を断つため毛利方が包囲しようとしている。余白には両軍の兵船数・武将名が注記されている。

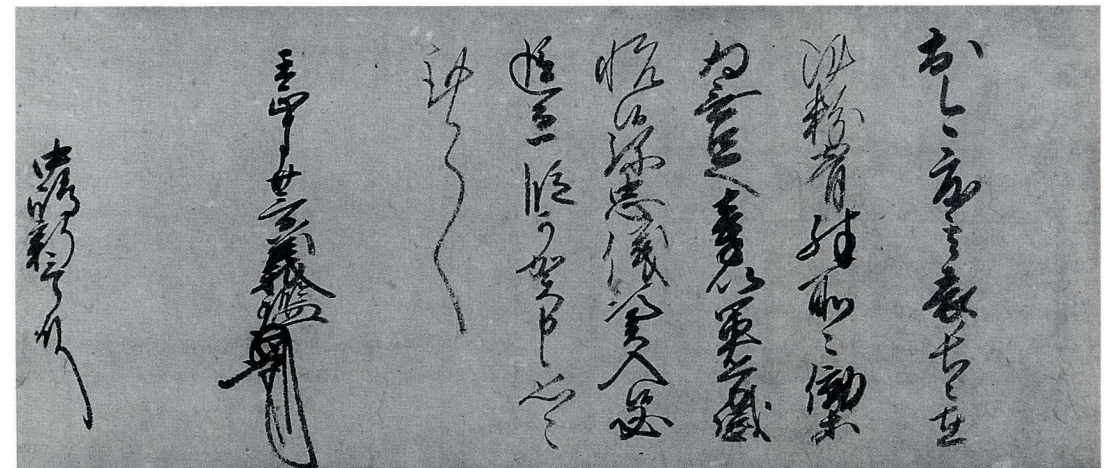
○豊後細見絵図 1鋪 木版単色 天保13年 (1842) 95.2×74.3cm

日田の滴々軒浩水が出版した木版刷りの国絵図。図中に城・陣屋・郡郷村名・温泉・鉱山・街道・宿駅・一里塚・航路が細かく書き込まれ、余白には郡ごとの石高と村数、藩領高・寺社・名産品・繁盛の地・温泉場・各地の祭札市等の注記がある。

○高松陣屋御預所絵図 1鋪 紙本着色 江戸後期 38.9×52.7cm

高松陣屋が管轄していた大分郡と速見郡内に点在する幕府領の村々を描いた絵図。図中に日田代官塩谷大四郎の名前がみえ、1817~35年の状況を描いている。

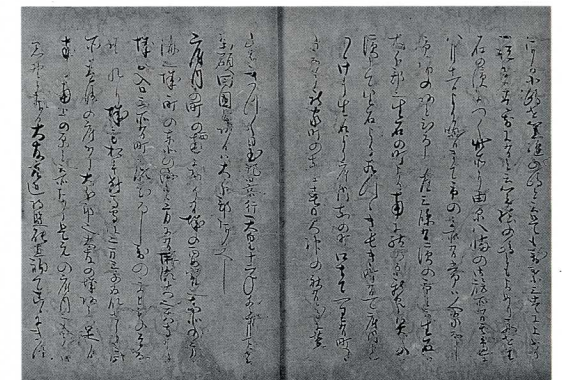
○生石村絵図 1鋪 紙本着色 63.8×85.6cm
明治時代初期に作られたと考えられる生石村全体の字図。街道沿いに短冊形の地割りが並び、江戸時代から町場が形成されていたことがうかがえる。



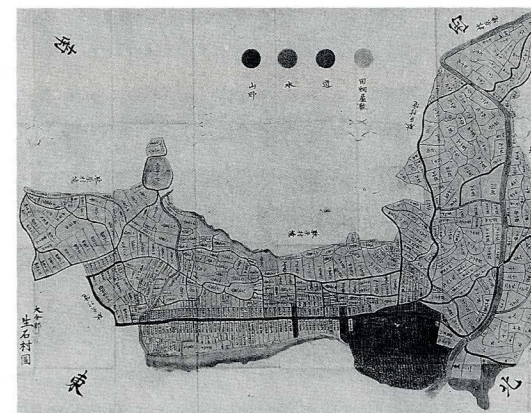
大友義鑑書状



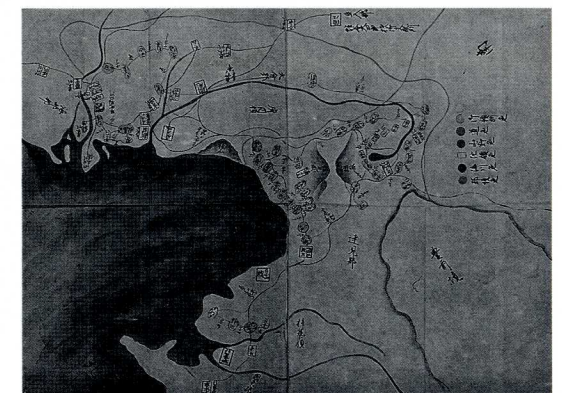
府内藩金銀札払帳



豊国紀行



生石村字図



高松陣屋御預所絵図

○南豊鉄道路線図 1 鋪

印刷 明治30年(1897)頃 28.3×39.8cm

明治28年から計画され、30年に株式が募集された南豊鉄道の路線予定図。宇佐・四日市から大分を経て竹田まで通じることになっている。しかし、資金が集まらず、31年会社は解散し、鉄道は幻に終わった。

○大正～昭和初期大分市地図 4 鋪

- ①大正11年大分市街新地図 38.9×54.7cm
- ②昭和4年大分市街新地図 39.0×54.5cm
- ③昭和9年大分市新地図 79.3×54.3cm
- ④昭和12年大分市新地図 54.5×39.5cm

大正～昭和初期に市販されていた大分市の地図。③のみ大分市発行で、あとは大阪昼々堂の発行。①②は市街地のみで、③④は市域全図である。また、①②④の裏面には写真入りで「大分市遊覧案内」と題する主要な建物と名勝旧跡の説明がある。

○『日本におけるキリスト教の勝利』 1 冊

1623年初版 ミュンヘン刊 520p 19.8×16.3cm

イエズス会宣教師トリゴーが1612年から20までの日本でのキリシタン迫害や布教状況について述べた書物。キリシタンが拷問を受けている図や処刑図の銅板画が17枚挿入されている。

○『1591・92年日本年報』 1 冊

1595年版 ミラノ刊 165p 102×14.7cm

日本在住のイエズス会宣教師が1591年と92年にローマ本部へ提出した報告書。豊臣秀吉によるパレレン追放令以後の豊後の状況が述べられている。

美工資料

○源氏物語絵「竹河」 1 面

江戸時代初期 額装 43.7×57.8cm

継続購入している源氏物語絵と一連のもの。巻44竹河から、源氏の孫蔵人少将が玉蔓邸を訪れ、二人の姫君が基に興じている姿をかいま見る場面を描く。全54面のうち23面が揃った。

○別府湾沿岸鳥瞰図巻 1 巻 江戸時代

卷子 木版着色 全長459.3×幅30.5cm

杵築城下から府内城まで別府湾岸の景観を描いた版画。有名や寺社や地名、温泉名を書き込み、上部余白部に各地域にちなんだ詩歌が彫り込まれている。巻頭に本図を購入して販売されていた版画を卷子にしたとある。作者は府内の仙寿堂・芦川とあるが、詳細は不明。

○府内藩家老伝来武具一括 4 点 江戸時代

- ①青糸威二枚胴具足 1 領 胴高48.3cm
- ②花菱文菊花銀象嵌鍔 1 対 総高23.9 幅13.4cm
- ③家紋入柄杓 1 点 全長87.7cm
- ④家紋入矢筒 1 点 全長56.4cm

府内藩家老を代々勤めた家に伝来した甲冑ほかの武

具。甲冑は二枚胴形式で、鉄板を横に接ぎ鋲止めし、さらに下部を青糸で威すなど、江戸時代の製作技法の特徴をよく示している。兜は六十二間星兜で、吹返に家紋が入っている。

○刀 1 振 天保9年(1838) 全長72 反り 1.8cm

富田盛利作 大分市指定文化財

「豊府家士神狐丸盛利行年七十才作」、「天保九年戊辰二月日任望角幸安鍛之」の銘があり、1838年府内藩刀工富田盛利が70才の時角幸安の依頼で製作したことがわかる。富田家は府内城下鍛冶屋町に住み代々藩のお抱え刀工を勤め、盛利は8代目にあたる。

○ランタカ砲 1 門

青銅製 17～18世紀 全長86.5cm 口径2.9cm

艦船に搭載される洋式砲。砲口が八弁の花びら状で砲身に鋸歯文を組み合わせた文様を施すなど東南アジア製の特徴をよく示している。

○オランダ人形彫根付 1 点

江戸時代 木製 全長 9.4cm

帽子をかぶったオランダ人が子供を抱いている姿を表現した根付。

○燧道具仕込根付 1 点 江戸時代

真鍮製 銀象嵌 全長4.5cm 幅3.5cm

おそらく煙草入れや火打ち袋用に作られた根付。ゼンマイ仕掛けの鉄撃子を火打ち石につけ火花をおこし、下の火口に火種を作る構造になっている。

- | | |
|-------------|---------------|
| ○南蛮鐺 12枚 鉄製 | 江戸時代 |
| ①竜魚竜宮唐草文図鐺 | 金布目象嵌 径 7.9cm |
| ②木瓜形龍唐草文図鐺 | 金布目象嵌 径 6.8cm |
| ③卍文図鐺 | 銀象嵌 径 8.1cm |
| ④花クルス唐草文図鐺 | 金象嵌 径 8.9cm |
| ⑤十字文透図鐺 | 径 8.5cm |
| ⑥花クルス文透図鐺 | 径 6.5cm |
| ⑦十字文透図鐺 | 径 6.8cm |
| ⑧十字文透図鐺 | 金象嵌 径 6.6cm |
| ⑨クルス入和透図鐺 | 径 8.0cm |
| ⑩花クルス文透図鐺 | 径 8.4cm |
| ⑪花クルス文透図鐺 | 金布目象嵌 径 7.9cm |
| ⑫秋田園唐草文透図鐺 | 金象嵌 径 7.7cm |

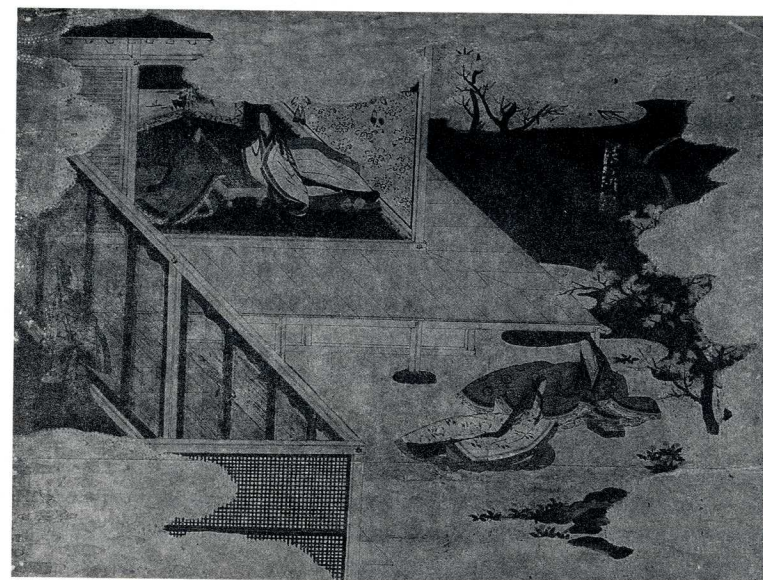
南蛮鉄を使い、龍や唐草文、十字文など異国趣味にあった図柄を描いた鐺

複製品製作

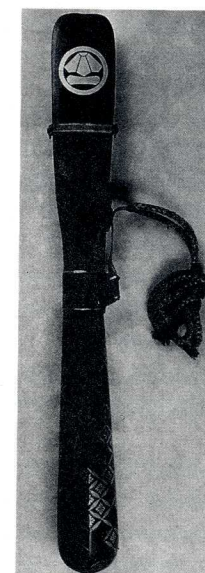
○南蛮屏風 狩野内膳筆 1 隻

原本 神戸市立博物館蔵

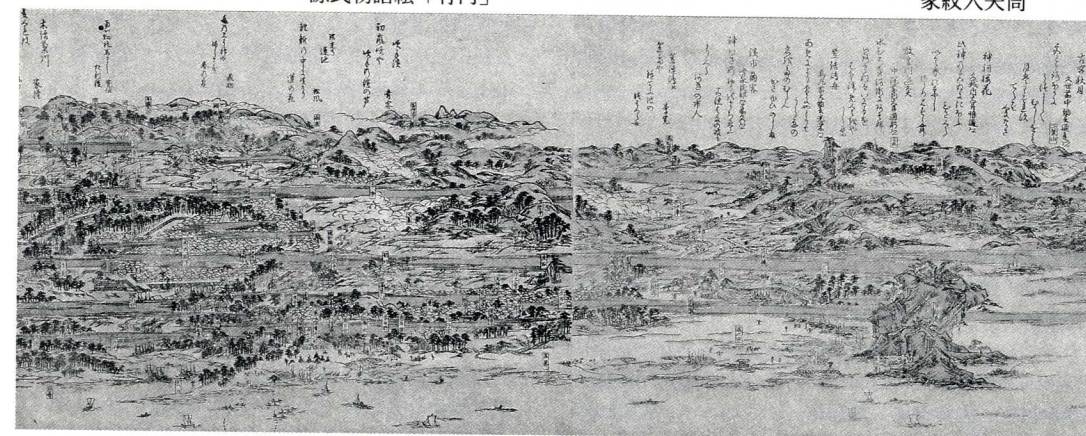
数ある南蛮屏風の中で最優品のひとつである狩野内膳筆六曲一双のうち右隻(入港図)の完全模写による複製品を製作した。



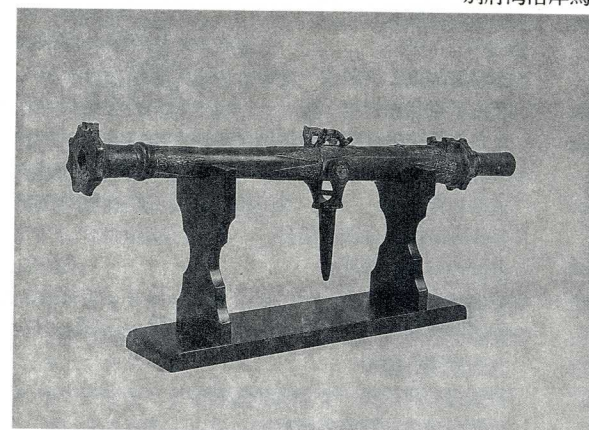
源氏物語絵「竹河」



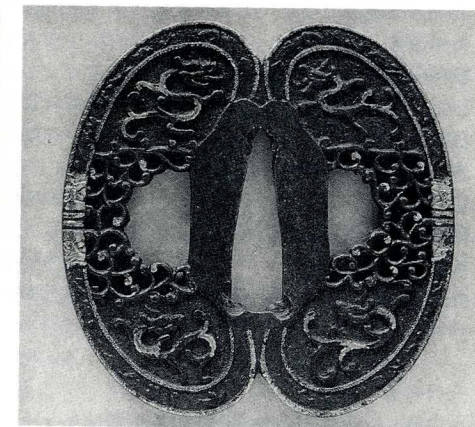
家紋入矢筒



別府湾沿岸鳥瞰図巻



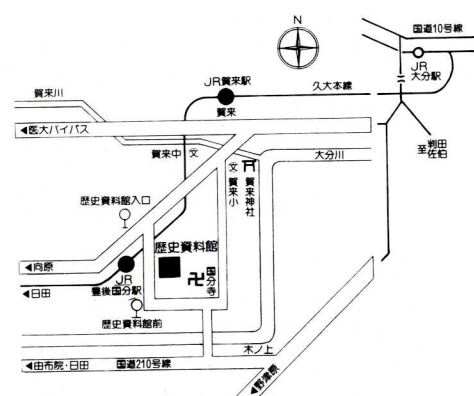
ランタカ砲



木瓜形龍唐草文図鐺

利 用 案 内

- 開館時間 午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)
- 休 館 日 月曜日(祝日にあたるときは翌日)
祝日の翌日
年末年始(12月28日～1月4日)
- 観 覧 料 大 人 200円(団体150円)
小中高生 100円(団体50円)
(市内の小学生は無料です)
* 団体は30名以上
* 特別展の開催中は別料金になる
場合があります。
- 交通機関 JR久大線
○豊後国分駅下車
大分バス
○歴史資料館前下車
歴史資料館前ゆき(松ヶ丘経由)
(木ノ上経由)
○歴史資料館入口下車
国分新町ゆき
向原ゆき(賀来経由)
今畑ゆき(")
中村ゆき(")
竜原ゆき(")



大分市歴史資料館年報

1992

発行日 平成5年3月31日

編集・発行 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1

〒870 (0975)49-0880